



もりの手紙

mo ri no te ga mi

2
如月

NO 307 / 2023

森にいこうよ!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com/

安全を第一に、
楽しく！
できる時に
できることを！

contents

★2月例会案内

「楠那ふれあい樹林」

2月26日(日)《担当4班》

..... 2.

★部会報告

クラフト部会：佐藤

里山部会：岩田

..... 3

《森づくり啓発シリーズ》

★健康科学館にて木工クラフト

：本廣

..... 4

★樹木いきいき講座《その15》

：藤原

★今月のひと枝：ナギ

..... 5

★2月・各部の活動案内他

「クマノザクラ」記念植樹案内

..... 6



見本にしたいプロの技「竹林整備」。端正に整えられた棚積みはさすがです！～湯来町にて～

私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり

《ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略》

もりメイト倶楽部
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。

森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。

森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。

森の恵みを伝える：恵みを利活用し、拡げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！

全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。

案内



2月地域貢献例会



楠那「ふれあい樹林」整備 《担当：4班》

～竹林整備作業にチャレンジしよう！～

◆日 時： 2月26日（第4日曜）9時～少雨決行

※担当班のメンバー＆リーダーは8時30分までに集合して下さい。

※駐車場に限りがありますので出来るだけ乗り合わせてご集合下さい。

◆集合場所：楠那公民館

※ 南区楠那町7-10 《南区スポーツセンター隣》

◆会場：黄金山麓^{ふもと}【楠那ふれあい樹林】

◆持参物：山の道具・弁当・水筒《名札も忘れずに》

◆申込み：2月18日（土）までに各班長へ連絡。

※申し込みの日が準備の都合上 今回から早めています。ご協力ください。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は 事務局へ
電話かメールでご連絡下さい。

090-6419-7531 : info@morimate-ch.com



広島市には「ふれあい樹林制度」があります。緑地など身近な自然環境を守るために、企業や団体が担当地を決め、ボランティア活動の一環として継続的に整備を行っています。市内には6か所の「ふれあい樹林制度」指定の場所があり、その1つ黄金山の山麓にある2か所の竹林を「マツダロジスティクス（株）」様が12年に渡り整備されています。もりメイト倶楽部の里山整備士が指導に関わったのがご縁で、昨年に引き続き、その熱意に是非応えようと、「地域貢献プロジェクト」として今年も例会を計画いたしました。上記の地元企業の社員や地元住民の方々と一緒に竹林整備の活動を通し、身近な自然を守って行きましょう。また当日は、竹林整備の研修も兼ねます。学びの場としても是非ご参加ください。

←写真は、昨年3月に行なった例会から。現地へ向かう様子と作業。

3月の例会は「倶楽部創立25周年記念行事」として広島市森林公園にてサクラの植樹を行います！（6ページにも案内）



★1月部会は、鹿ヶ谷の木々も冬真最中の気候の中、休眠し春の成長に向け栄養を貯えている香りが漂いつつあるフィールドで、7日今年初めての活動を8名が参加し行ないました。昨年、広島市より通知があった鹿ヶ谷作業場の砂防ダムが3月ぐらいより着手となり、作業場周りの整理が必要になり、まず、工具類の倉庫の移動・バイオトイレの移設・工事範囲になる植樹した銀杏、木いちご、くりの木、梅、みかん、琵琶の木の伐採等の作業が発生し作業内容と移設方法等協議。取り掛かりとして、重量物である倉庫の移動の為、移動場所の整地拡張作業を行い、正月休みで少し肥満気味の体が悲鳴を上げている部員もおりました。クラフト部会の活動も、本格的工事着手により制限される予想ですが、部員おのおのクラフト案を持ち寄り、元気に活動したく思うスタートとなりました。



倉庫の整地。ビフォー(左) アフター(右)

立ち退きを余儀無くされた梅・クリ・木いちごなど。



今年最初の里山部会は、3連休中の中日8日に行い参加者は13名でした。安芸区の自宅から、安佐北区白木町三田の小川フィールドまでの車中、あちらこちらで、とんど祭りの準備している方々を見ながら白木町に入ると、突如としてモノトーンの世界が現れ視界が10分の霧が出迎えてくれました。

実は、4日に1人で小川Fに下見に行き、散策後、続いて妙國寺裏山のスクスクウの森にも伺い(妙國寺のご住職にご挨拶)この日が2度目の白木町。

今年でボランティア活動10年という節目であります。山はいつも自分が暮らす都会の雑踏から全て遮断してくれ、来るたびに心身共にリセットしてくれる場所でもあります。そのため、誰よりも早く現地に着るので同行者にはご迷惑をお掛けしていますが、木々の息吹・鳥のさえずり・たまには獣との遭遇といういろいろ経験させていただいています、身体が続く限り参加していきたいと思ひます。さて、この日の作業は、12月にやり残した落ち葉の清掃・昨年末のクリスマス寒波での影響で立木に寄り掛かった倒木の撤去・薪棚の整理・草刈り機のグリスアップ(機械点検)を行いました。昼食には、ぜんざいを提供、用意した20人前が無くなる盛況ぶり。食後は、焚火を囲みながらゆったり過ごし、個々の年末年始の過ごし方の話に盛り上がりました。弾む話を遮り心苦しかったのですが、少し早めの14時に解散しました。次回の里山部会は、2月12日(日)9時より小川フィールドで環境整備を行います。



草刈り機のグリスアップ清掃中



和やかな休憩のひと時



たっぷりの落ち葉は集め甲斐あり。



もりメイト倶楽部 Hiroshima 発【森づくり啓発シリーズ】
～こんな事にも関わっています～



■もりメイト倶楽部 Hiroshima では「森林整備の重要性」を多くの人々に理解していただくため、あらゆる場所で啓発活動の事業を展開しております。今回は、中区千田町にある「広島市健康づくりセンター 健康科学館」にて木工クラフトを行いました。中国新聞にも紹介されましたが、その経緯や取り組みをご紹介します。

■健康科学館では、子ども達が健康や自分の体に関心を持つきっかけをつくることを目的として、小学生を対象とした工作教室やイベントを行っています。その一環として、心身の健康に良い影響を与える木に着目し、子どもたちが実際に木に触れ、自然について考える機会を作りたいと考えておられました。

2018年に当時の館長が以前仕事を通じて山本恵由美理事長と交流があり、「もりメイト倶楽部 Hiroshima」へ木工工作の教室のご相談があり、その趣旨に賛同して依頼をお受けして現在に至ります。

～楽しみながら木に触れ、自然を考える場に～
健康科学館にて木工クラフト 副理事長 本廣 良一



森の役割について話す山本理事長(中央)

当日(12月24日:土曜)は親子11組、28人が参加し、午後1時30分にスタートしました。もりメイト倶楽部の紹介の後、山本理事長が『ひと昔前は山に入り木を持ち帰って燃やし料理や風呂を沸かす生活でした。今はスイッチを押せばご飯もできる時代になり、山に人が入らなくなり荒れて暗い森になっています。山が荒れると災害にもつながります。』と、絵を使って子どもたちにわかりやすく森について話し、さっそく《干支のうさぎクラフト工作》に入りました。

まず、みんなで台座となるヒノキの丸太を輪切りしました。その中で、ノコの扱いが素直で真っ直ぐに切る子供がいて、家で切ったことは無い、ノコを持つのは初めてと聞き、見勢井顧問がその素質にびっくり。また、見勢井顧問が『葉っぱ裏を見るとXYZのどの文字が見えるかな?』と、ヒノキの特徴を説明。枝を飾ったり綿で雪を表現したり色々工夫を凝らし、終了予定の午後3時30分ぎりぎりまでみんな頑張りました。最後にみんな一言ずつ感想を言って終了となりました。【指導員:山本・見勢井・本廣】

**ウサギの木工作
上手にできたよ**

中区で教室
2023年のえとにちな
んだウサギの木工作を間伐
材で作る教室が広島市中区
の市健康科学館であった。
市内の児童と保護者たち28
人が手作りの魅力に触れ
た。

県内の森を手入れするN
PO法人「もりメイト倶楽
部Hiroshima」
(中区)のメンバー3人が
講師を務めた。子どもたち
はヒノキの丸太を講師と一
緒にのこぎりで切って土台
を制作。リョウブの枝など
を頭や体に見立てて接着剤
で付け、手のひら大のウサ
ギを作った。

ヒノキやリョウブは法人
が伐採して用意した。「木
の間に日光を通すと土壌が
豊かになり、土砂崩れも起
きにくくなる。木を使って
自然を守っているんだよ」
と意義も伝えた。

広島大付属東雲小う年国
間伐材でウサギの木工作
作る小学生

原美智さん(8)は「のこぎりを使えて楽しかった。玄関に飾り、習い事のバレエを頑張りたい」と喜んでいました。

1月11日(水)
～中国新聞にて掲載～

コメントをいただきました

広島市健康づくりセンター
健康科学館
Health Sciences Museum

教室では、人と森との関係や、会員の方々による森の整備活動を通して出た間伐材などの材料がどんなふうに使ってきたかを聞くことができ、森の役割や保護について知る貴重な機会となっています。また、日頃自然にふれることがなかなかない子どもたちに木をノコギリで切ったり、木の手触りや匂いを感じたりと、五感を通じて自然に親しむ良い経験になっています。

教室で作った作品を家に持ち帰って、話をしてもらうことで家族にも自然を楽しみ守りたくなる気持ちを伝えてくれていると信じています。



樹木いきいき講座 <その15> 3班 藤原満男



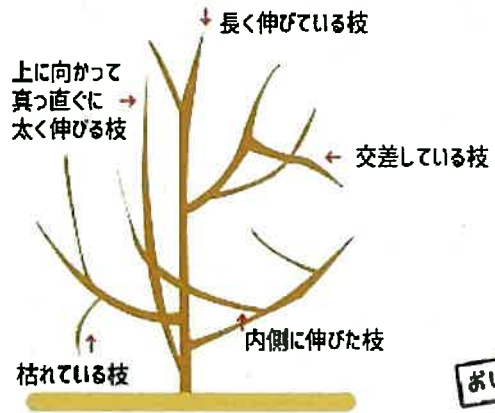
◆剪定は、大きくなり過ぎたり混み過ぎたらやります。敷地の外や、玄関に立って、またメインの部屋から庭の椅子に坐って庭木はどうなっていますか。

角度を変えてよく見て、隣や通路などにはみ出していたり屋根の樋より高い所は剪定して除きます。また不揃いのはみ出しを整え、高くなり過ぎていれば幹を低くします。

◆枝は、冬の陽当りを良くし、夏の日陰を確保します。生垣で通行人や隣の視線からも守ります。枝が多ければ幹の付け根で切る透かし剪定、長くなり過ぎた枝は切り戻し剪定をし、枝同士が交わっていたり上下に重なっていたら片方を除くか短くします。この辺の判断の仕方は個性です。失敗しながら理解します。戻り枝と言って外側から幹に向かう枝や、真上に伸びる徒長枝、ひこばえや胴吹きは剪定して除きます。付け根や股の所で切りデベソを作らないようにします。

◆作業の手順としては、奥から手前に、高い所から低い所に、太い枝を先に切り中枝小枝を切ってゆきます。切った枝葉は、虫や病気の原因になるし見苦しいので残さず片付けます。

【剪定を行う枝】



広島なぎさ中学校「仕事ウォッシング・森づくり」がテレビ放映されます

1月24日(火)にスクスクの森にて、「広島なぎさ中学校」が森林整備や椎茸の菌打ち仕事、薪で火を起こし食事を作るなどの体験をしました。講師は「もりメイト倶楽部 Hiroshima」是非ご覧ください！！

=放映日：2月19日 番組：RCC「イマナマワールド」13時54分～14時36分=

※※1月3日に放送された番組「ラブグリーン・森が教えてくれたもの」も、逃し配信3月末日までWeb配信可能です※※
「RCC見逃し配信 ラブグリーン」などで検索を！



SAOヒト枝

原田 澄

ナギ (椰)

<マキ科 ナギ属>

伊豆半島の、式根島、紀伊半島、山口、四国、九州、沖縄の暖地帯に生える常緑高木。葉は対生し、革質で厚く濃緑色で光沢があり、細い平行脈が多数ある。葉身は5~8センチ。一見広葉樹に見えるが針葉樹。花は5月頃に開花し実を結ぶ。実は直径10~15センチの球形で外側はオリーブ色で白い粉をかぶり、10~11月に熟すと褐色になる。別名チカラシバ。和名は、葉の形がミズアオイ科のコナギに似ていることから。…▼観察会に参加の折、ひと枝頂いた。きりっとした艶やかな緑の葉を纏うナギ。▼葉は強靱で切れにくく、古から縁結びの神として男女が鏡の裏に忍ばせお守りにしたという。ナギは、エピソード豊富な「幸せを呼ぶ木」。▼まもなく迎える早春の候。陽の明るさに、伸びる日脚に、春を待つ心にそれはやって来る。厳しい寒さを乗り越える為の計らいに満ちた季節、到来。~佐伯区倉重 2023・1~



—2月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

～木工クラフト&干支の兔、楽しみたい方お待ちします～

- 2月は4日・11日・18日の土曜日
山本町鹿ヶ谷基地で活動します。
25日(土)は例会前日の為休会としました。例会活動に励みましょう。
- 連絡先：佐藤 090-1682-6305
satoken069@yahoo.co.jp

クラフト
部会

- 2月の環研部会はありません。
3月に、松ヶ原キッズフィールドの現地にてフィールドの整備と打ち合わせを予定しています。
- ※今年も当日の料理、設営のスタッフを募集します。ご協力宜しくお願いします。

■ 連絡先：佐々木
mamakin0404@yahoo.co.jp

環研
部会

・・・3月例会は・・・

もりメイト倶楽部 Hiroshima 創立 25 周年記念例会

★みんなで新種【クマノザクラ】を植えましょう★

～～是非ご参加を！！～～

時：3月19日(第3日曜)《雨天順延3月26日(日)》

場所：広島市森林公園

「クマノザクラ」は、サクラ属で1915年にオオシマザクラの種名が発表されて以来、およそ100年ぶりに発見された野生種(昔から日本に自生していてその誕生に人の手が関わっていない桜)です。悠久の時を超えて発見されたとても珍しい「クマノザクラ」を、創立記念樹として広島市森林公園にみんなで植え、未来につなげましょう！



■ 日時：2月12日(日)9時～15時

■ 場所：小川フィールド

～安佐北区白木町中三田地区～

■ 作業：環境整備

■ 持参品：水筒・弁当

・山の道具

■ 連絡先：岩田 080-5751-3798

里山部会

【3月号】の会報発送作業は下記の通り実施します。
どなたでも、都合のつく方はご参加ください。

■ 日時：2月22日(水)18:00～

■ 場所：広島市まちづくり市民交流プラザ3F



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。

【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

【個人会費】：3,000円

【企業会費】：50,000円

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383

【ゆうちょ銀行】15170-18029291

《口座名：特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで

【電話】090-6419-7531

【Email】info@morimate-ch.com